

問い合わせ先
水島海上保安部 航行安全課
航行安全課長 富樫 広太郎
電話：086-444-2967

玉野海上保安部 交通課
交通課長 河野 卓夫
電話：0863-31-3423



令和6年1月5日
水島海上保安部
玉野海上保安部

令和5年 岡山県沿岸の船舶事故及び 人身事故の発生状況（速報）について

- 船舶事故43隻（令和4年比2隻減少）
⇒過去5年で最少
- 人身事故40人（令和4年比5人減少）
⇒SUP※事故が増加



※SUP:「スタンドアップパドルボード」サーフボードの上に立ち、一本のパドルで水面を進むマリンスポーツ
注意1:数値は水島・玉野海上保安部管内の集計であり、岡山県の行政海域とは一部異なります。
注意2:発生数は速報値であり、事故調査結果等により増減する場合があります。

1 船舶事故発生状況

令和5年の船舶事故隻数は43隻で、プレジャーボートが最も多く27隻、次いで貨物船が10隻となっています。

(1) 令和5年 船舶事故発生状況（単位：隻）（死者・行方不明者なし）

		船舶種類						計
		プレジャーボート	貨物船	漁船	遊漁船	タンカー	その他	
海難種類	運航不能※	16	1	2	0	1	0	20
	乗揚	5	6	0	0	0	1	12
	衝突	4	1	0	1	0	0	6
	単独衝突	2	1	0	0	0	0	3
	浸水	0	1	0	0	0	0	1
	転覆	0	0	1	0	0	0	1
計		27	10	3	1	1	1	43

※運航不能：機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏等により航行に生じた船舶事故のことをいう。

(2) 船舶事故事例

① プレジャーボート乗揚海難

発 生 日：令和5年1月11日

場 所：倉敷市下津井沖（水島海上保安部管内）

船舶種類：プレジャーボート（全長8.29m）

海難種類：乗揚

概 要：船長1名乗りで出港後、海上で釣りを開始。その後、場所を移動するため倉敷市下津井沖の松島西方の浅瀬付近海域を航行中、推進器が浅瀬に底触し、シャフト部分から浸水したためマリーナに救助要請を行った。



事故船舶の引揚げ状況

マリーナ救助船到着時、船体は船首部のみが海面上にある状況だったが、船長は無事に救助された。
なお、その後、船体は流され、下津井沖の海上で沈没した。

② プレジャーボート運航不能

発 生 日：令和5年5月21日

場 所：香川県直島沖（玉野海上保安部管内）

船舶種類：プレジャーボート（全長6.34m）

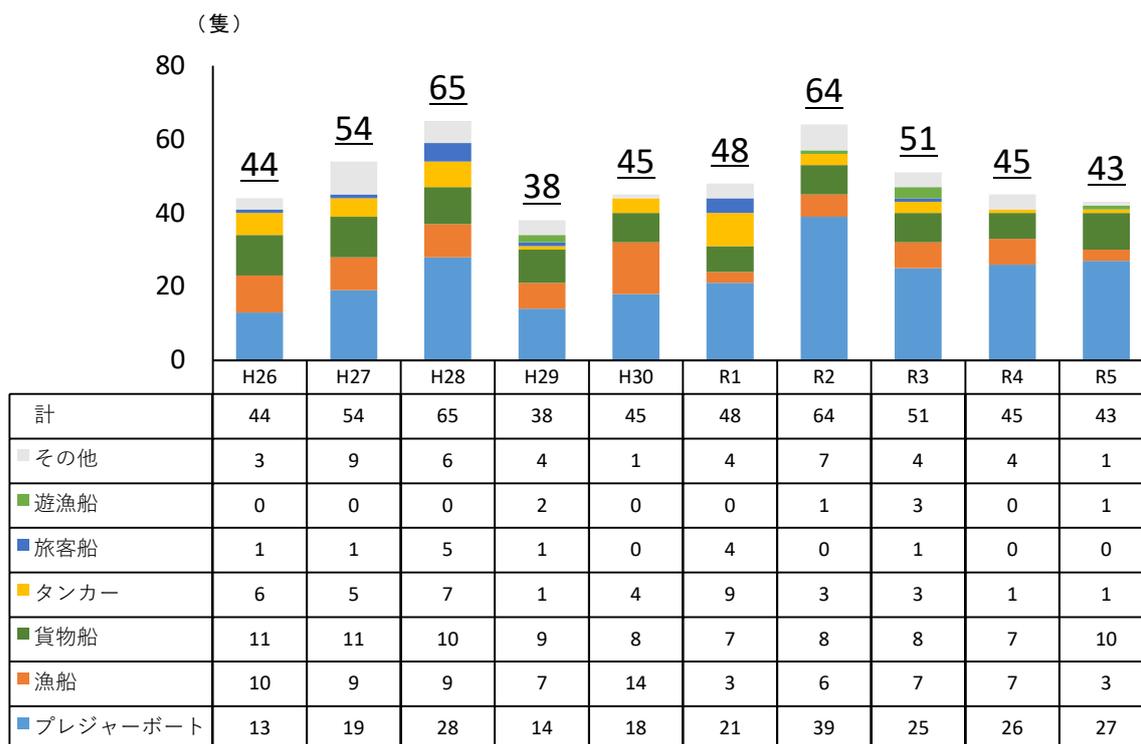
海難種類：運航不能

概 要：事故船舶は3名乗りで出港後、上記場所で釣りを開始。その後、釣りを終え帰ろうとしていたところ燃料が欠乏し航行不能となり、玉野海上保安部に救助要請を行った。事故船舶は玉野海上保安部所属巡視艇により付近港まで曳航救助された。



事故船舶の曳航状況

(3) 船舶事故の傾向



- 総事故隻数（43隻）は過去10年で2番目に少ない
- 漁船の事故隻数（3隻）は過去10年で最少
- 貨物船の事故隻数（10隻）は過去10年で2番目に多い
- プレジャーボートの事故（27隻）が全体の約60%

(4) 船舶事故の対策

例年、船舶事故の約半数がプレジャーボートによる海難です。

プレジャーボートの海難を海難種類別に見ると、機関故障、燃料欠乏、推進機障害等による「運航不能」事故が最多となっています。

このような状況を受け、引き続き、プレジャーボートの所有者等に対し、

「出港前の点検の徹底」・「整備事業者による定期的な点検整備」

を推進していきます。

また、貨物船の事故10隻のうち6隻が「乗揚」事故であったことから、

「常時適切な見張り」・「自船位置の常時確認」・「事前の海域調査」

も呼びかけていきます。

2 人身事故発生状況

令和5年の人身事故者数は40人で、マリンレジャーに伴う海浜事故11人のうちSUP中の事故が最も多く4人となっています。

(1) 令和5年 人身事故発生状況（単位：人）（括弧内は死者数）

		事故区分			計
		船舶事故以外の乗船中の事故	マリンレジャー以外の海浜事故	マリンレジャーに伴う海浜事故※	
事故内容	自殺	1 (1)	9 (8)	0	10 (9)
	海中転落	2 (1)	4 (2)	1 (1)	7 (4)
	帰還不能	0	1	6	7
	溺水	0	0	3 (1)	3 (1)
	病気	3 (1)	0	0	3 (1)
	負傷	9 (1)	0	1	10 (1)
計		15 (4)	14 (10)	11 (2)	40 (16)

※マリンレジャーに伴う海浜事故内訳：SUP中4人、釣り中3人（うち死者1人）、遊泳中3人（うち死者1人）、磯遊び中1人

(2) 人身事故事例

① 遊泳中の溺水

発生日：令和5年7月30日

場所：倉敷市 沙美西海水浴場（水島海上保安部管内）

事故内容：溺水

概要：事故者（50代男性）は飲酒（生ビール5杯程度）後に仲間と2名で海水浴場沖に設置されたサメ避けネットに向かって遊泳を開始。3分程度泳いだところで持病の喘



息の症状が出たため、事故者のみ浜へ戻ろうとしたところ溺れ、うつぶせになって動かなくなった。異変に気付いた周囲の市民に救助。病院に搬送途中で意識を取り戻し、入院となった。

② 釣り中の帰還不能

発 生 日：令和5年5月20日

場 所：玉野市深井町松ヶ鼻地先（玉野海上保安部管内）

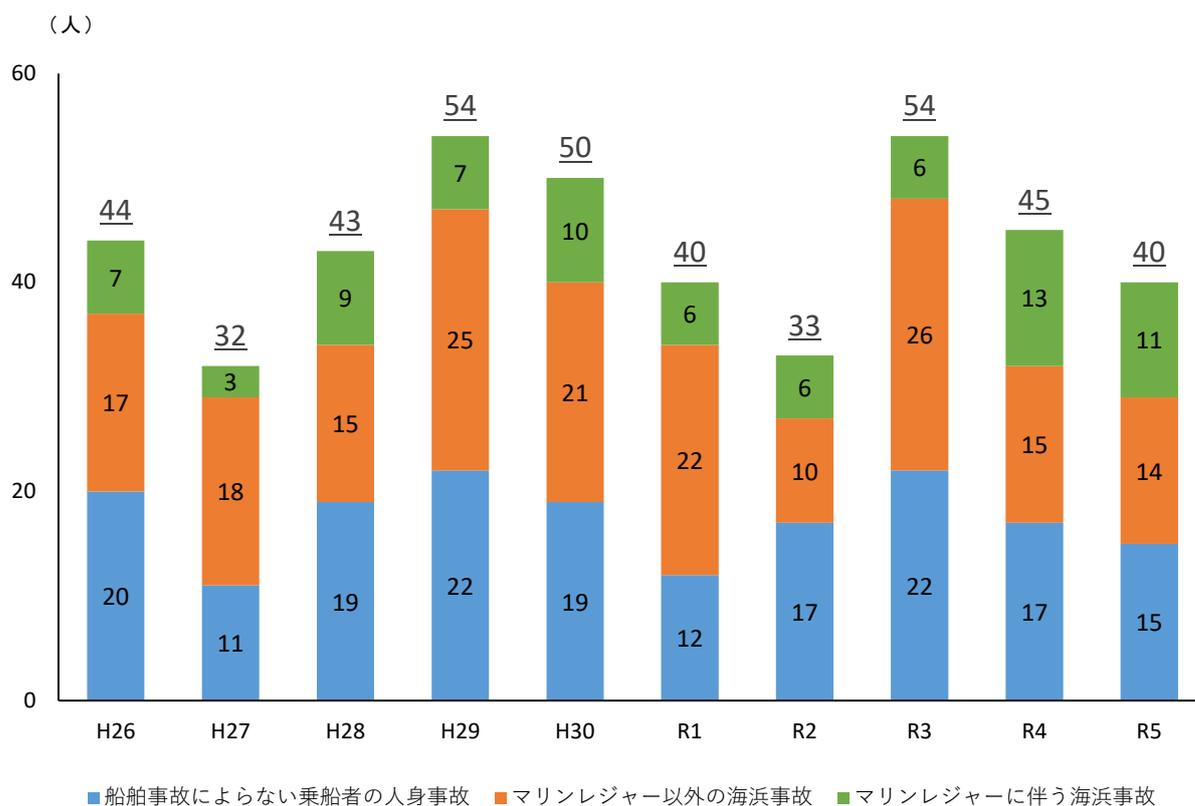
事故内容：帰還不能

概 要：事故者2名（50代男性・40代女性）は、玉野市深井町松ヶ鼻から南西約60m沖の岩場で釣りをしていたところ、満潮に伴い陸に戻れなくなった。その後、事故者から当庁あて118番通報がなされ、玉野海上保安部所属の巡視艇により救助された。（生命に別条なし）



救助状況

（3）人身事故の傾向



- 「マリレジャーに伴う海浜事故」数（11人）は過去10年で2番目に多い事故数
- 「マリレジャーに伴う海浜事故」のうちSUP（スタンドアップパドルボード）の事故（4人）が最多

(4) 人身事故の対策

「マリンレジャーに伴う海浜事故」のうち最多となったSUPの事故は、令和5年を除くと過去10年で発生数が2人だったところ、令和5年においては4人と増加しました。

ここ数年、SUPの事故は全国で急激に増加しています。（平成25年：0人、平成30年：29人、令和4年：70人）

今後、SUPの事故は岡山県沿岸でも同様の状況になることが予想されることから、

「気象・海象の確認」・「基本技術の習得」・「複数行動」・「ライフジャケットの着用」

を呼びかけていきます。

また、例年、遊泳中の溺水や、釣り中の海中転落・帰還不能が多く発生しており、原因別では自己の不注意が多くを占めていることから、遊泳をされる方に対し、

「開設された海水浴場での遊泳」・「飲酒後の遊泳の禁止」・「最新の気象情報の入手」

を推進していきます。

また、釣りをされる方に対しては、

「気象・海象の確認」・「複数行動」・「立入禁止区域に入らない」・「ライフジャケットの着用」

の励行を呼びかけていきます。